

平成 3 1 年

厚木愛甲環境施設組合議会第 1 回定例会会議録

平成31年厚木愛甲環境施設組合議会第1回定例会会議録

平成31年3月27日（水）午前10時開会

出席議員 13人

1番	松	田	則	康
2番	石	井	芳	隆
3番	川	口		仁
4番	神	子	雅	人
5番	栗	山	香	代子
6番	名	切	文	梨
7番	松	本	樹	影
8番	小	島	総	一郎
9番	山	中	正	樹
10番	熊	坂	弘	久
11番	熊	坂	崇	徳
12番	岩	澤	敏	雄
13番	細	野	洋	一

欠席議員 なし

説明のための出席者

管 副 副 会 事 事	理 管 管 計 務	理 理 理 局 局	者 者 者 者 長 長	小 小 岩 霜 井 落 山	林 野 澤 澤 島 上 合 口	常 吉 宏 憲 光 栄	良 豊 美 美 正 彦 二
----------------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	----------------------------	---------------------------------

事務局出席者

書 書	記 記	府 小	川 瀬 村	浩 伸	明 一
--------	--------	--------	-------------	--------	--------

議 事 日 程

- 1 会期の決定
- 2 議会運営委員会の調査事件及び継続調査期限について
- 3 管理者施政方針
- 4 議案第1号 平成30年度厚木愛甲環境施設組合会計補正予算（第1号）
- 5 議案第2号 平成31年度厚木愛甲環境施設組合会計予算

議 長 諸 報 告

- 8月29日 厚木愛甲環境施設組合監査委員から、監査結果報告があった。
例月出納検査結果報告（7月分）
- 10月3日 厚木愛甲環境施設組合監査委員から、監査結果報告があった。
例月出納検査結果報告（8月分）
- 10月10日 厚木愛甲環境施設組合管理者から、臨時全員協議会の開催について、依頼があった。
- 10月30日 厚木愛甲環境施設組合監査委員から、監査結果報告があった。
例月出納検査結果報告（9月分）
- 11月2日 厚木愛甲環境施設組合議会先進事例視察のため、議長、副議長及び議員10人が川崎市王禅寺処理センターの視察を行った。
- 11月28日 厚木愛甲環境施設組合監査委員から、監査結果報告があった。
例月出納検査結果報告（10月分）
- 1月4日 厚木愛甲環境施設組合監査委員から、監査結果報告があった。
例月出納検査結果報告（11月分）
- 1月29日 厚木愛甲環境施設組合監査委員から、監査結果報告があった。
例月出納検査結果報告（12月分）
- 2月12日 平成31年厚木愛甲環境施設組合議会第1回定例会の運営について、議会運営委員会へ諮問した。
- 2月27日 厚木愛甲環境施設組合監査委員から、監査結果報告があった。
例月出納検査結果報告（1月分）
- 同 日 厚木愛甲環境施設組合監査委員から、監査結果報告があった。
定期監査結果報告
- 3月6日 議会運営委員会委員長から、平成31年厚木愛甲環境施設組合議会第1回定例会の運営について、答申があった。
- 同 日 厚木愛甲環境施設組合管理者から、平成31年厚木愛甲環境施設組合議会第1回定例会招集通知があった。
- 同 日 厚木愛甲環境施設組合管理者から、平成31年厚木愛甲環境施設組合議会第1回定例会提出議案の送付があった。
議案第1号～第2号 2件
- 3月7日 厚木愛甲環境施設組合管理者に対し、説明員の出席を要求した。
- 同 日 厚木愛甲環境施設組合管理者から、説明員の出席について、報告があった。
- 3月14日 厚木愛甲環境施設組合管理者から、臨時全員協議会の開催について、依頼があつ

た。
3月25日 厚木愛甲環境施設組合監査委員から、監査結果報告があった。
例月出納検査結果報告（2月分）

本日の付議事件

- 1
 - く 議事日程に同じ
 - 5
-

○松田則康議長 皆さん、おはようございます。ただいまの出席議員は13人で定足数に達しております。

ただいまから平成31年厚木愛甲環境施設組合議会第1回定例会を開会いたします。

ここで、会議規則第78条の規定によって、本定例会の会議録署名議員を議長から指名いたします。岩澤敏雄議員、細野洋一議員にお願いいたします。

議長の諸報告は、お手元に配付のとおりでありますので、ご了承願います。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおりであります。

日程に入ります。

○松田則康議長 日程1「会期の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日1日とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

ご異議なしと認めます。よって本定例会の会期は本日1日と決定いたしました。

○松田則康議長 日程2「議会運営委員会の調査事件及び継続調査期限について」を議題といたします。

お諮りいたします。本件につきましては、お手元に配付のとおり調査を願うことにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

ご異議なしと認めます。よってそのように決しました。

○松田則康議長 日程3「管理者施政方針」の説明に入ります。管理者。

○小林常良管理者 皆様、おはようございます。平成31年度の予算及び諸案件のご審議をお願いするに当たり、住民の皆様並びに議員の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、私の組合運営に対する所信を申し述べるとともに、施策についてご説明申し上げます。

私たちの住む厚木市、愛川町及び清川村は、丹沢山系の山並みや相模川、中津川及び

小鮎川の清流など豊かな自然環境に恵まれており、かけがえのない財産となっています。このような自然と共存した環境を、将来を担う子供たちに引き継いでいくことは、私たちの重要な使命であります。そのためにも、私たちみずからが循環型社会づくりの担い手であることを自覚して廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用に努め、環境負荷の低減を図っていく必要があります。

本組合を構成する厚木市、愛川町及び清川村の3市町村におきましては、住民の皆様のご理解、ご協力のもと、ごみの減量・資源分別の取り組みを進めております。循環型社会の形成を推進するため、本組合におきましても、災害に強く環境や安全等に配慮したごみ中間処理施設の整備に向けて、構成市町村と連携し事業を進めてまいります。

さて、平成31年度の予算編成につきましては、貴重な財源の効率的な配分と経常経費の削減に努め、施設整備を着実に前進させるために必要な事業費を措置した結果、1億5158万円の予算規模といたしました。

事業の執行に当たりましては、国の循環型社会形成推進交付金や神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金により財源確保を図りながら、「循環型社会の構築を目指したごみ中間処理施設整備の推進」及び「情報提供推進による事業の透明性の確保」を二大施策として、広域ごみ処理施設の2025年度稼働とともに、ごみの共同処理開始に向けて積極的に取り組んでまいります。

初めに、「循環型社会の構築を目指したごみ中間処理施設整備の推進」の取り組みについてご説明申し上げます。

この事業につきましては、神奈川県環境影響評価条例に基づき、事業が環境に及ぼす影響について現地調査をもとに予測評価した結果を環境影響予測評価書案としてまとめ、平成30年10月26日に神奈川県知事へ提出いたしましたので、引き続き神奈川県環境影響評価審査会への十分な説明に努めるとともに、神奈川県知事から送付される環境影響評価審査書を踏まえ、環境影響予測評価書をまとめて

まいります。また、都市計画決定に必要な手続を着実に進めるとともに施設基本設計をまとめ、事業着手に向けての準備を進めてまいります。

次に、「情報提供推進による事業の透明性の確保」の取り組みについてご説明申し上げます。

住民の皆様にご理解とご認識をさらに深めていただけるよう、組合情報誌「クリーンあつあい」の発行や、組合ホームページ及び市町村広報紙への情報掲載とあわせ、事業報告会を開催するなど、事業内容の情報提供を行い、事業の透明性の確保に努めてまいります。

以上、平成31年度の組合運営に当たり、私の所信及び施策を述べてまいりましたが、ごみ中間処理施設の整備につきましては、いよいよ施設建設への具体的な事業段階に進んでまいりました。引き続き金田地区の皆様及び地権者の皆様への丁寧な説明を行いながら、2025年度の稼働に向け全力で取り組んでまいりますので、住民の皆様並びに議員の皆様により一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。平成31年度の施政方針といたします。

ありがとうございました。

○松田則康議長 以上で管理者施政方針の説明を終わります。

○松田則康議長 日程4「議案第1号 平成30年度厚木愛甲環境施設組合会計補正予算(第1号)」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。管理者。

○小林常良管理者 ただいま議題となりました議案第1号 平成30年度厚木愛甲環境施設組合会計補正予算(第1号)につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

本件につきましては、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2199万7000円を減額し、補正後の総額を1億6629万3000円とするものでございます。

初めに、歳入歳出予算の内容でございますが、歳入につきましては、分担金及び負担

金、国庫支出金、県支出金を減額するものでございます。

次に、歳出の主な内容についてご説明申し上げます。

総務費につきましては、派遣職員給与費が当初見積額を下回ることが見込まれるため、減額するものでございます。

次に、衛生費につきましては、4カ年継続事業で進めております環境影響評価及び施設基本設計に係る3年目の経費を減額するものでございます。

また、既定の継続費について、総額及び年割額の変更を行うものでございます。

以上でございますが、何とぞよろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○松田則康議長 質疑に入ります。——別になければ質疑を終結いたします。

お諮りいたします。本件は、会議規則第36条第3項の規定によって委員会付託を省略することに異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

ご異議なしと認めます。よって委員会付託を省略いたします。

討論に入ります。——別になければ討論を終結いたします。

採決いたします。日程4「議案第1号 平成30年度厚木愛甲環境施設組合会計補正予算(第1号)」は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員。よって本件は原案のとおり可決されました。

○松田則康議長 日程5「議案第2号 平成31年度厚木愛甲環境施設組合会計予算」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。管理者。

○小林常良管理者 ただいま議題となりました議案第2号 平成31年度厚木愛甲環境施設組合会計予算につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

平成31年度予算につきましては、広域廃棄物処理施設整備調査事業費を措置したほか、

人件費及び組織運営費等の必要見込額を措置し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億5158万円とするものでございます。

それでは、歳入歳出予算の内容につきましてご説明申し上げます。

初めに、歳入の内容でございますが、分担金及び負担金につきましては、構成市町村から負担金を受け入れるものでございます。

次に、国庫支出金につきましては、循環型社会形成推進交付金を受け入れるものでございます。

次に、県支出金につきましては、神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金を受け入れるものでございます。

次に、繰越金につきましては、平成30年度の残額を繰り越すものでございます。

次に、諸収入を計上するものでございます。

続きまして、歳出の主な内容をご説明いたします。

議会費につきましては、議員報酬や会議録作成業務委託料などを計上するものでございます。

次に、総務費につきましては、職員人件費、一般事務費のほか、監査委員の報酬などを計上するものでございます。

次に、衛生費につきましては、ごみ中間処理施設整備検討委員会の開催経費のほか、建設予定地の取得準備を進めるための不動産鑑定評価等の経費、4カ年継続事業の最終年度として、環境影響評価及び施設基本設計に係る経費などを計上するものでございます。

次に、予備費につきまして計上するものでございます。

以上でございますが、何とぞよろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○松田則康議長 質疑に入ります。栗山議員。

○5番 栗山香代子議員 本会議については、今年の8月から7カ月ということなので、この間の様子も含めてお伺いしたいと思いますが、2つお伺いいたします。

1つは、特に住民説明に係る部分ですけれ

ども、環境影響評価でありますとか都市計画決定ということが説明会で行われました。その間、いろいろな意見も出たし、その後、公聴会も開かれていたかと思えますけれども、その辺の状況がどうだったのか。

あわせて、施政方針のほうで事業報告会を開催するということから、新年度はどのような予定であるのかということが1つです。

もう1つは、事業がいろいろ進む中で、昨年8月以降変更した部分があるのかどうか。それが金額的に、あるいは工期といたしますか、稼働するに当たってどの程度の影響があるのか。その2つをお伺いいたします。

○落合光彦事務局長 ただいまのご意見でございますが、まず住民のほうに関しますアセス、要は環境影響評価という部分についてご説明申し上げます。

これまで環境影響評価に関しましては、現場のほうの実務の関係になります実態の調査を全部完了させていただきました。今年度につきましては、それをもとにしまして、施設から出てくるものの内容がどれだけ環境に影響を及ぼすかということで、環境影響予測評価書案というものを作成させていただきました。この環境影響予測評価書案につきましては、平成30年10月に神奈川県の方に提出しております。

その後、11月から3月までの間、計4回にわたり、神奈川県環境影響評価審査会という会の中で、實際上、論議をさせていただきました。論議の点につきましては、環境における問題点並びに自主規制値をどういうふうに考えているのか、あと生物多様性における動物の保護の関係はどういうふうにするのかという中の、細かい生物並びに環境、あとは工事にかかわる部分まで、並びに完成後の稼働はどういうふうに管理していくのかという点について審査をしていただいております。現在のところにつきましては、審査会のほうへの回答はほぼ済んでおります。

この後、最終的に、今、問題になっておりますが、生物多様性というふうな部分で組合

としてどのように環境を保全していくのかというところを、今後、5月、6月に予定する審査会におきまして資料をお示ししてご説明する段階になっておりますので、県条例の施行規則に基づく10カ月の範囲内、平成31年7月には審査会の答申、並びに神奈川県の方から、先ほど管理者の方で説明しました評価書案に対する審査書が来る予定になっておりますので、現段階、アセスの方につきましては順調に進んでいるという状況です。

あと、事業報告会の内容なのですが、平成29年度は2度行いました。平成30年に関しましては、都市計画の素案並びに原案の説明会をやっておりますので、そのもので事業計画の説明にかえさせていただいている状況になります。平成31年度に関しましては、都市計画の方の決定事項が出るということと、評価書案から評価書に変わるという時期がありますので、11月か12月ごろに開催予定にしようかというふうに計画しております。

あと、8月に皆様の方にご説明を申し上げました際には、土地利用計画図の中に赤と白の鉄塔があったかと思えます。こちらのほうにつきましては、平成27年の段階から接続検討ということで、東京電力株式会社のほうと協議を進めておりました。最終的に評価書案を出す段階のときに、東京電力パワーグリッド株式会社のほうに、最終的にどうなるのか結論を求めた結果、東京電力パワーグリッド株式会社のほうから、海老名のほうに用地を取得しなければならないところがあるというのが判明しまして、そちらの用地取得の交渉、並びに最悪の場合、賃貸借でもできるのかということがあったのですが、そちらにつきまして所有者の方々に当たった結果、売ることなければ貸すこともできないという内容から、平成31年1月、東京電力パワーグリッドからの最終回答として、海老名市側への送電ができないというふうな回答を得たことから、本計画に基づきます鉄塔につきましては建設をしないという結論に至っております。

そのときに、今回の施設の中における売電

の部分について、東京電力パワーグリッド株式会社と厚木のほうに売電をするという形の協議が今進んでおまして、その電気のキロワット数並びにそちらのほうに関しまして、今、鋭意、内容を詰めております。東京電力パワーグリッド株式会社のほうの回答としましては、最終的には線の一部張りかえ並びに施設から出る最終的な電力の安全性が担保できれば特に問題ないということまで一応こぎつけております。

あともう1点、緑地エリアの部分、約3.7ヘクタールに緑を計画しておりますが、地元の方の環境センター周辺整備を考える会の中で、その一部に遊水池を設けるということで、そこに一時、水がめをつくって水をためて排水するというふうなことを協議していたのですが、そちらの方の維持管理、並びに子供たちがそこで遊ぶときの管理的な面はどうなのかというふうなことで、うちのほうとしましても協議をした結果、その部分をなくして、必要となる災害時の一時保管場所の平面を大きくするというところに基づきまして、敷地内の浸透並びに施設エリアのほうに地下式で貯留槽を設ける形に変更させていただく形に、地元の方の調整並びに検討委員会までの了解を得ております。このことから、土地利用計画図で大きく変わりますが、鉄塔を中止したことと、遊水池のほうを変更し、敷地内処理及び貯留槽を地下式にすることでございます。

このことで、まず土地利用の方面に関しましては、素掘りの遊水池を設けて、そこにポンプ関係全てのものを整備するよりは、やはり敷地内浸透をすることによって、ある意味、自然的な環境に戻すということと、あと地下式ではございますが、今、既製品等々がありますので、工事費としましては約10%の減額ができるのではなかろうかと推測しております。

○5番 栗山香代子議員 費用はざっとどれぐらいというのはわかるんでしょうか。あと、稼働の時期については早まるのかどうか。金額と時期について。

○落合光彦事務局長 現段階につきまして、稼働時期につきましては、2025年、平成でいきますと37年度以内にはお約束できるかというふうに思っております。この部分が早まるか早まらないかということに関しましては、鉄塔を建設することで当時おくれたというふうなこともございますが、今回、やはりどうしても中に市道認定の関係の廃止をしなくてはならないこと、あと並びに水のほうの浸水関係の対策ということで、造成レベルの変更もさせていただいております。これらのことも含めますと、最終的には平成37年度中の稼働は間違いなく守っていきたいと思っております。

東京電力パワーグリッド株式会社の関係の電気配線については、その工期内で確実に実施できるということまでは確約をとれている状況になっております。

○松田則康議長 ほかになければ質疑を終結いたします。

お諮りいたします。本件は、会議規則第36条第3項の規定によって委員会付託を省略することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

ご異議なしと認めます。よって委員会付託を省略いたします。

討論に入ります。——別になければ討論を終結いたします。

採決いたします。日程5「議案第2号 平成31年度厚木愛甲環境施設組合会計予算」は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員。よって本件は原案のとおり可決されました。

○松田則康議長 以上で本日の日程は終了いたしました。

これもちまして平成31年厚木愛甲環境施設組合議会第1回定例会を閉会いたします。

午前10時24分 閉会

上記会議のてんまつを記載し、その相違ないことを証し、ここに署名する。

議長 松田 則康

議員 岩澤 敏雄

同 細野 洋一